

前回緑化委員会における緑視率調査へのご意見への対応

資料3-1

整理番号	前回の緑化委員会で頂いたご意見の要旨	区としての対応
1	<p>緑視率だけにフォーカスせず、実態調査の全体像がまずあって、その中の1つの調査指標としての緑視率をどのように位置付けて活用されるかが示されると分かりやすい。</p> <p>緑被率がまずあって、緑視率は補足的に調査するのによいと思う。風景・景観としての評価と結びつくかもしれないが、他区との比較は意味がないと思う。</p>	<p>区は、5年ごとに「みどりの実態調査」を行って、区内の緑の現況を様々な指標で捉えています。前回委員会でのご意見を踏まえ、緑視率だけの検討ではなく、昨年4月に策定した「みどりの総合計画」の施策体系と重点施策ごとに、その効果を捉える適切な指標は何かという観点から、「<u>みどりの実態調査</u>」の調査項目全体を見直し、再編・整理します。</p>
2	<p>緑視率については、これから議論する部分はあると思うが、緑の満足度などを測る一つの指標として他区でも使われている。</p> <p>緑視率を測る目的とポイントがはっきり整理されていないように感じる。目的をもう少ししっかりして提案して欲しい。</p> <p>緑視率は、測定地点が少しずれば全く異なる結果になる。調査地点をいくら増やしても、練馬区全体で見ればピンポイントで調査しているに過ぎない。30年後に緑視率をアップする目標を立てて、限られた調査地点だけ重点的に緑化すれば数字は増える。</p>	<p>「みどりの実態調査」の見直しを通じ、<u>緑視率は、主に以下2点の目的をもって調査し活用します。</u></p> <p>① 重点施策3に関連して、生活道路の緑化における、緑地協定やみどりの協定などの取組の効果を検証するための調査。サンプリング調査を行い、区民にも効果を分かりやすく示していく。</p> <p>② 重点施策4・5に関連して、大規模公園の整備、都市計区道路の整備などによる、緑視率の変化動向を把握するための調査(次回以降も継続的に測定する)。公園や道路の整備年次や整備手法の違いによる比較も行えるようなサンプリング調査とし、事業の効果を検証する。</p>
3	<p>緑視率、緑被率だけではなく、生物多様性やコミュニティ形成などの観点から、区としてどういう緑の捉え方をして、どのように緑の評価をしていくべきか検討して調査指標を議論いただければと思う。</p>	<p>「みどりの総合計画」は、基本方針の1つに「みどりを育むムーブメントの輪を広げる」を掲げ、誰もが気軽に緑を守り育てる活動に参加できる環境づくりを目指しています。新たに、様々なみどりの活動への参加の有無、例えば区民農園利用経験の有無、公園清掃への参加の有無などによって、みどりの満足度にどのような影響があるかといった観点から<u>意識調査を行います。</u></p>
4	<p>平面的な緑を増せない環境で、「緑がある」と区民が実感するのは、どのような緑化かといったことを捉える、そういう意味での緑視率だと思う。地域性、土地利用の用途などに応じて、区民が少しでも緑を増やそうと考える契機となる比較対照できる調査地点の設定を考えて欲しい。</p>	<p>似たような土地利用状況での緑視率の違いによる区民の実感への影響をサンプリング調査とアンケート調査により検証し、区民の緑化への取組みの誘導に活用を図ります。</p>
5	<p>他区では、区民意識調査の中で具体的な景観写真を示して、その景観写真に対する意識を調査しつつ、緑視率の変化との関係性を見るというようなことも行われ始めている。そういった調査も検討できれば。</p>	<p>新たに行う意識調査において、区内の代表的な景観写真を示して、区民の満足度と緑視率との相関性を検証する設問を検討します。</p>
6	<p>緑視率は、人に近い緑の質をできるだけ定量的に測る一つ的手段と理解している。その地域の代表的な景観を評価して、その中の緑の量、割合ということを把握する、その質もあわせて把握するということができれば、望ましい地域づくりの指標にはなるのではないか。</p> <p>区として、本当に重要な公園、庭園などで、ここから見る風景が大事だということについて緑視率を捉えるならば、それなりの価値があると思う。</p>	<p>地域の代表的な景観として、光が丘公園や石神井公園など大規模な公園、特色ある公園、農の風景育成地区や郷土景観緑地などを、緑視率の調査地点に加えます。それぞれ特徴的な景観における、緑視の量・割合の特徴、質についての把握・比較検討を行います。</p>
7	<p>調査をするのであれば、メッシュという発想ではなく、重要なビューポイントに絞るのが良いと思う。</p> <p>緑視率と満足度の関係性を区としてどのようにリンクさせて考えていくのでしょうか。</p>	<p>測定地点に依存する指標である緑視率は、平均値の比較や、メッシュ調査で横の比較を行うことに適さないのご指摘がありました。これを踏まえ、緑視率は、メッシュ調査ではなく、整理番号2・6に示した考え方に沿って、調査地点を追加します。</p> <p>緑視率は、みどりの総合計画の施策・重点事業の効果を捉える指標の1つとして活用してPDCAサイクルで取組を見直ししていきます。意識調査の分析を通じ、練馬区における緑視率と満足度との相関性について検証していきます。</p>